

相模台放課後児童クラブ へいわ分室

児童クラブだより 1月号

2025年1月7日
社会福祉法人ピスティスの会
相模台放課後児童クラブ
へいわ分室

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

新学期も始まり、冬休みやお正月の話を楽しそうに話す子どもたちの声があちらこちらから聞こえてきます。まだまだ厳しい寒さが続きますが、子どもたちの笑顔に職員一同、心が温まる思いです。今年も、はつらつとした声と花の咲くような笑顔あふれる保育に取り組んでまいります。

さて、本年は放課後児童クラブ運営母体のピスティスの会が、創設 75 周年を迎えます。70 周年時、新型コロナウイルスの蔓延により実施できなかった周年企画を検討しています。子どもたちはもちろん、保護者様におかれましてはご参加いただける企画を現在検討しています。詳細が整いましたら、改めてお知らせいたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

12月の子どもたちの様子

冬の工作

12月には希望者を募り、工作を楽しみました。紙皿をハサミで切って円錐を作り、そこに毛糸を巻き付けてボンドで固め、さらにリボンや小物を飾って小さなクリスマスツリーを作りました。

時にはどうすればいいかと悩みながらも、自分で完成させたときの誇らしい笑顔に、子どもたちの成長を感じます。



外遊び

12月に入って冬が本格的に到来した感がありますが、子どもたちは寒さに負けていません。自由あそびの時間に外遊びの希望者を募り、職員引率のもと保育園の園庭や近隣の公園に出かけました。子どもたちはバドミントンやホッピング、ステッピ―を楽しんだり、敷地内を縦横無尽に走り回って汗を流し、伸び伸びと過ごしたりしながらエネルギーを発散していました。



クリスマス

ピスティスの会の放課後児童クラブは、クリスマスを大切にしています。12月の始めから、その準備期間である「アドベント」に入り、クリスマスツリーを飾ることやアドベント・カレンダーをめくったり、礼拝で歌う讃美歌の練習をしたりとクリスマスまでの歩みを大切に過ごしました。

クリスマス当日は礼拝で仲間とともに祈り、讃美歌をうたい、クリスマスのお話を聞いておごそかに過ごし、祝会ではクイズやゲーム、いつもより豪華なおやつ、そしてクリスマスプレゼントの開封と、みんなで思い切り楽しみました。クラブのみんなで心を合わせた素敵なクリスマスの一日になりました。

※写真(上) クリスマス礼拝内のお祈りの様子

写真(下) プレゼント開封での盛り上がる光景



おおそうじ

年末最後の登所日には、保育室・ホール・ホワイエ(ロビー)・外階段と担当チームを分けて、大掃除を行いました(左下写真)。子どもたちはてきぱきと動き、自分の持ち分が終わっても「ほかにやることはないですか?」と自発的に取り組んでいました。施設を大切に思う気持ちと子どもたちの成長がうかがえる瞬間でした。



ハーベストの手作りおやつ

☆1月10日(金)☆

きなこラスク

